

山梨県内の新型インフルエンザの流行状況と対応について
定例記者会見・知事コメント

平成21年8月26日(水)

先週末の8月21日に、厚生労働省は、8月10日から8月16日の1週間で、全国のインフルエンザ定点(約5千の医療機関)1箇所あたりの報告数が1.69と、流行開始の目安としている1.00を上回ったことから、インフルエンザの流行シーズン入りを発表しました。

山梨県では、同じ期間(8月10日～8月16日)において、40の定点医療機関から22例のインフルエンザ様疾患の報告があり、1箇所あたりの報告数は0.56となっています。

さらに、暫定速報値ではありますが1週間後の8月17日～8月23日においては76例の報告があり、1箇所あたりの報告数は1.9となっており県内においても流行シーズン入りとなりました。

全国平均の1週間遅れで、流行が開始された状況ですが、例年、今の時期にインフルエンザの報告は0であるが、今年は、ここ数週間、週を追うごとに報告数が増えていること、今週、来週にかけて、学校が再開される時期であり、感染機会が増えること、などから、さらに流行が拡大することも予想されます。

県民の皆様には、引き続き、手洗い、うがいなどの感染防止対策を励行してください。また、症状が出た場合にはマスクの着用、外出の自粛、人に咳やくしゃみをかけない咳エチケットをお願いします。

今回の新型インフルエンザについては、基礎疾患を有する方や妊娠中の方、乳幼児が重症化するリスクが高いとされています。こうした方々については、早期受診・早期治療を心がけてください。

重要なのは、県民の皆様一人一人が自分の健康状況に注意して、いつもと違って調子が悪いなどの場合は、極力人ごみの中には外出しないなど、早目早目の対応を取ることです。

県としても、関係機関と連携を密にし、感染拡大防止対策等を講じて参ります。

(参考)

週 数	山梨県(40定点)	全国(約4,600定点)
31週(7/27～8/2)	0.08	0.56
32週(8/3～8/9)	0.45	0.99
33週(8/10～8/16)	0.56	1.69
34週(8/17～8/23)	1.9(暫定速報値)	集計中